

令和2年度 大阪府立高津高等学校 第3回学校運営協議会 会議録

日時：令和3年3月23日（火）18時30分～19時30分

場所：校長室

出席者：委員 森田 英嗣（大阪教育大学教授・副学長）

新崎 国広（大阪教育大学教授）

竹村 伍郎（NPO法人 まち・すまいづくり理事長）【欠席】

浅田 千鶴（同窓会副会長）

高谷 実穂（前PTA会長）【欠席】

上杉 伸一（現PTA会長）

事務局 山崎 晃昭（校長）、佐保田 真一（教頭）、山崎 義文（事務長）、

伊勢田 佳典（首席）、山口 優（首席）、前川 紘紀（進路指導主事）、

尾崎 知佐子（記録係）

1. 挨拶（校長より）

- ・緊急事態宣言解除後、卒業式および入学者選抜は順調に行うことができた。
- ・大学入試の結果、学校教育自己診断、令和2年度学校評価（案）ならびに令和3年度学校経営計画（案）について説明させていただき、ご意見をいただきたい。

2. 学校からの説明

①大学合格状況について（進路指導主事より）

・大学入学共通テスト

全国的難易度は前年よりも易化。本校の平均点は、文系は上昇、理系は下降。

総合得点6割以下の層の学力をどのように上げていくかが課題。

・出願状況

難関3大学前期日程出願者数（前年差）：

京都大学 12（-4）、大阪大学 33（-28）、神戸大学 70（-7）

大阪大学の出願者数が少なく、大阪市立大学、大阪府立大学の出願者が増えている。

国公立大学の出願者は例年と変わらないが、私立大学の出願者数は増加。

・合格者数（73期は総合、推薦、前期日程のみ）

難関3大学の本年卒+過年卒の合格者数：

京都大学 13（+4）、大阪大学 17（-14）、神戸大学 23（-7）

国公立大学の合格者数：176名（本年卒121名+過年卒55名）

医学部合格者数：4名（本年卒1名+過年卒3名）

②令和2年度 学校教育自己診断結果について（首席より）

（令和2年12月実施 Google フォームで回答）

- ・生徒の回答は、多くの内容で高評価、全体として昨年度を上回った。

- ・保護者の回答は昨年度とほぼ同程度、質問 20、21 に関しては PTA 活動、授業参観、学校行事に参加する機会がほとんどなかったため低評価。
- ・生徒、保護者ともに不満の多くは、施設設備（トイレ）である。教育活動については、概ね満足していると受け取れるのではないだろうか。

③令和 2 年度学校評価（案）ならびに令和 3 年度学校 経営計画（案）（校長より）

<令和 2 年度学校評価（案）について>

- ・「高津授業メソッドの進捗状況」：肯定率 94%（◎）【評価指標 90%以上】
- ・12 月実施の第 2 回 G T E C スコアレポート CEFR B1：165 人（受験者 695 人）（◎）
【評価指標 100 人以上】
- ・KITEC により英語運用能力が向上したと回答：93%（△）【評価指標 98%以上】
- ・国際交流センター留学生との交流を 20 回実施。（◎）
- ・新型コロナウイルスのため海外への渡航、海外からの受け入れは中止、台湾・韓国の受け入れ対象校とは 2 月に web 会議システムで一日交流を行った。（○）
- ・「体験型進路学習」の満足度：97%（◎）【評価指標 90%以上】
- ・遅刻者数：2,377 件（△）【評価指標 2,000 件】
- ・記念祭の満足度：97%（◎）【評価指標 95%以上】
- ・生徒授業アンケート結果：3.36（◎）【評価指標 3.2 以上】

<令和 3 年度学経営計画（案）について>

- ・難関国公立大学（京都大学、大阪大学、神戸大学）への合格者数（現役生+既卒生）：令和 5 年度までに 80 人以上、国立大学への現役生の合格者数を令和 5 年度まで 130 人以上で維持する。
- ・文理学科 1・2 年生の外部連携事業への延べ参加者数を令和 5 年度まで 1,500 人以上で維持する。

3. 質疑応答・討議

<大学合格状況について>

Q 1：出願する学部への傾向に変化は？

A 1：工学部、経営学部、経済学部の志望者が多い。

Q 2：京阪神の合格者が減っているということだが、浪人が増えるのか、私学への入学者が増えるのか？

A 2：国公立大学への出願は増えている。京阪神は減らしたが、今年は安全志向が強くと国公立大学全体の合格者数は減っていない。

<学校教育自己診断について>

Q 3：生徒の肯定率が全体的に大きく向上しているのは、たいへん勇気づけられる結果である。コロナ禍にもかかわらず、仕組みを工夫されたからではないか。

A 3：他校が取り組む前にいち早くオンライン授業を開始したことの肯定感、コロナ禍の中

で行事を減らさず実施した、学習の進度を遅れさせないなどが理由となっていると推察される。

<令和2年度学校評価（案）ならびに令和3年度学校 経営計画（案）について>

Q4：With コロナの時代となると思うが、オンラインの授業や講習、オンライン交流などをどのように進めていくのか

A5：令和3年度9月頃から生徒全員に電子端末（Chromebook）を貸与する予定になっている。自宅に持ち帰ることも可能になると想定している。家庭で事前に予習することもできる。令和4年度に向けて電子端末を使った教育方法を模索することになる。1人1台持つことでどのような教育ができるか、校内GIGA スクール構想準備プロジェクトチームで検討中である。

Q5：オンライン講習などを今後継続する予定はあるのか。オンラインの授業や講習などで、かなり労力をかけて作られた動画などの教材をストック・シリーズ化し、生徒が自分で学習する際に活用できるといいのではないか。

A5：講習を動画で配信している教員もいる。クラブの公式戦等で講習に行けなかった生徒に対してのオンデマンド配信、トップ層の引き上げ、下位層のフォローアップなど、令和4年度から新カリキュラムになることとも関連して、どのように使うのかを模索している。

※質疑応答・討議の後、令和3年度の学校経営計画の“1めざす学校像”と“2 中期的目標”）について、承認された。

4. その他

- ・トイレについて、4F男子トイレは和式から洋式に改装されたが、女子トイレ1系統の改修について、令和2年度に改修予定だったが一昨年のおおきな地震によるブロック塀対策が優先され、今年度はコロナ対策のため先送りとなっていたが、令和3年度に工事が開始されることが決定した。
- ・同窓会より、クリエイト・ラボを、卒業生と在校生の交流の場、卒業生等を講師とした講演会などで積極的に活用してほしいとの意見があった。
- ・ 令和3年度の学校運営協議会の予定。
 - 第1回：令和3年 7月
 - 第2回：令和3年12月
 - 第3回：令和4年 3月